

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 4 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍において、世の中の動き自体が止まってしまい、地域行事の開催の予定が立たない中で、成寿苑でもこれまで培ってきた地域との繋がりが見えなくなっています。入居者さまが地域参加できる機会を確保、維持していく必要があります。前回の計画と同様の計画を継続します。	コロナとの向き合い方を常に検討しつつ、入居者さまの地域活動や地域貢献できる場面を考案していく また、現在の継続している活動については止めることなく続けて行く	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の情勢を把握する ・引き続き、常にアンテナをはり、自治会の回覧や地域情報誌など確認し、情報収集する ・入居者が主体となって実施している地域清掃の継続と機会の拡大をしていく ・関係性を築いていた地域中学との連携の再構築を目指し、こちらからも機会を伺いながら、可能な活動を共に模索していく 	12ヶ月
2	4	コロナ禍において、運営推進会議の開催が出来ない状況です。地域の方の高齢化、ご担当者の交代など、コロナの急拡大により、地域との繋がりが見えない状況に陥っており、書面報告も滞っている状況です。構成メンバーの再構築を図る必要があります。	運営推進会議の定期開催の立て直し	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況の悪化等、集合開催の実施が出来ないとなれば、書面開催も入れながら、開催の定期化を立て直していく ・年間行事計画の中に組み入れ、集合実施出来ない状況を前もって見定める 	12ヶ月
3	6	こちらのご要望をもとに、前回の外部評価受審の際アドバイスを受け、成寿苑通信を不定期であるが、ご家族に向けて送付発信しているが、現在2回/年のペースになっています。また、毎回、各ご家族のご感想を考えながら、公平に掲載する写真を選んでおり、ご本人のご様子について、ご家族への連絡は心掛けています。しかし、ご家族アンケートには「月1回でも生活の様子を知らせて欲しい」とのご要望があったと調査員から聞かせて頂きました。コロナ禍であっても、大阪府からの指導のもと、自粛はしつつも、条件付きであるが面会ができる状況作っているが、満足できる状況に至っていない事への再認識が出来ました。	コロナ禍であっても、ご本人、ご家族の関心と繋がりが保てるような仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・今一度、全体の通信の回数や個別的な発信の機会を見直す ・扱いやすい通信方法を探るまたは、ご家族から募る ・コロナ情勢に見合った面会方法を取り入れるが、少なくとも、制限や緩和などの変更時、都度、全ご家族への報告や連絡を徹底し、その仕組み作りを勘案していく 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。